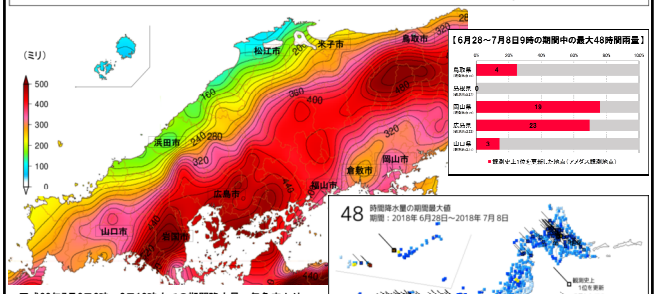
平成30年7月豪雨災害における緊急復旧事業

国土を整え、全力で備える
国土交通省
中国地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure,Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

経験したことがない記録的豪雨

岡山県、広島県を中心に多くの観測地点で24時間、48時間、72時間降水量が『観測史上1位』を更新。
この大雨で、鳥取県、岡山県、広島県に数十年に一度の大雨が予想される場合に発表される『大雨特別警報』が発表された。



平成30年7月3日0時～8日12時までの期間降水量：気象庁より

中国地方５県の人的被害・建物被害

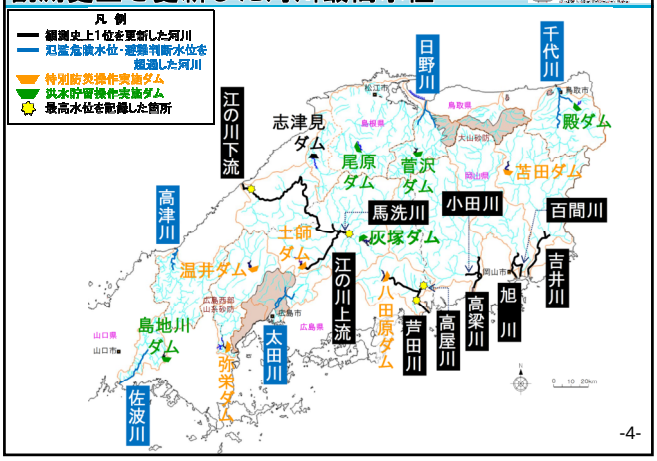
県名	人的被害			住宅被害					最大避難者数
	死者	行方不明者	負傷者	全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水	
	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	人
鳥取県	0	0	0	0	0	3	7	54	1,324(7月7日)
島根県	0	0	0	55	127	2	0	61	923(7月7日)
岡山県	61	3	161	4,822	3,081	1,108	2,921	6,035	4,787(7月8日)
広島県	109	5	138	1,085	3,258	1,996	3,234	5,603	11,707(7月7日)
山口県	3	0	13	21	448	95	135	653	417(7月7日)

出典：平成30年7月豪雨による被害状況等について（平成30年10月9日時点）（内閣府）

【岡山県倉敷市真備町】
小田川堤防決壊による浸水状況

【広島県安芸郡坂町小屋浦】

観測史上を更新した河川最高水位



中国地方５県の河川災害

中国地方の各地で堤防が決壊するなどし、多くの家屋や道路等が浸水する被害が発生。

堤防決壊：36箇所
浸水戸数：約34,800戸
浸水面積：約8,000ha

都道府県	水系名（箇所数）
島根県	八戸川（1）
岡山県	旭川（2） 高梁川（15）
広島県	芦田川（3） 本郷川（1） 沼田川（8） 賀茂川（1） 野呂川（3） 黒瀬川（1）
山口県	島田川（1）

【広島県三原市】沼田川堤防決壊

【岡山県倉敷市真備町】小田川堤防決壊

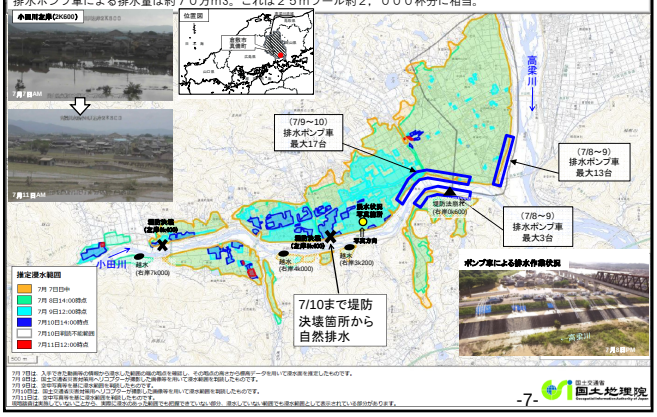
被害の概況（高梁川水系小田川の河川施設被害）

■小田川およびその支川において、河川管理施設に多くの施設被害が発生。
■小田川右岸は越水および法崩れが発生しており、小田川左岸は2箇所で堤防決壊が発生。
■概ね２週間を目標として、緊急復旧を図った。

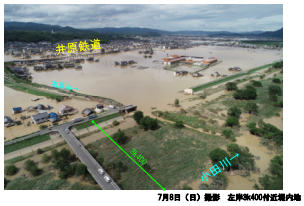
地図の出典：国土地理院ウェブサイト
※今次出水に関する数値等は平成30年7月16日15時時点のものである。

■倉敷市真備町の時系列浸水範囲及び緊急排水作業

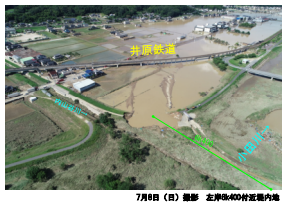
岡山県倉敷市真備町に、７月７日の浸水被害発生当日に全国の整備局から排水ポンプ車を集結させた。
７月８日から排水ポンプ車２３台により２４時間体制で排水を開始し、発災から４日後の７月１１日に排水作業が完了。
排水ポンプ車による排水量は約７０万m3。これは２５mプール約２，０００杯分に相当。



■今次出水における倉敷市真備町の浸水状況



7月8日（日）撮影　左岸3k400付近堤内地

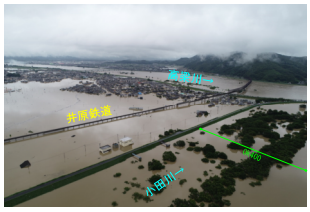


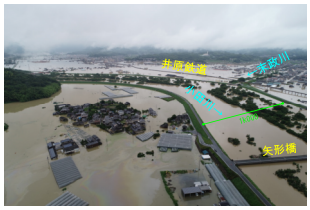
7月8日（日）撮影　左岸3k400付近堤内地

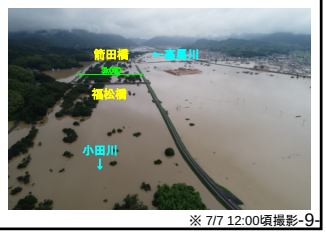
7月7日（土）撮影　左岸1k200付近堤内地
（末政川合流）

7月7日（土）撮影　左岸1k000付近堤内地
（倉敷紡績病院周辺）

■今次出水における倉敷市真備町の浸水状況







※ 7/7 12:00頃撮影

■今次出水における倉敷市真備町の浸水状況

7月7日（土）撮影　左岸0k300付近堤内地

7月7日（土）撮影　左岸0k100付近堤内地

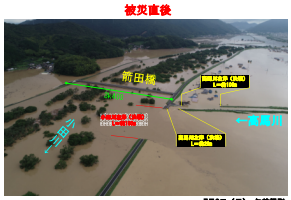
7月7日（土）撮影　右岸2k400付近

7月7日（土）撮影　左岸1k000付近

■小田川左岸3k400における被災前後の比較（国管理区間）

被災前

被災直後

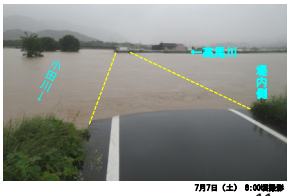


7月8日（日）　午前撮影

被災前

MMS画像（H28年度撮影）

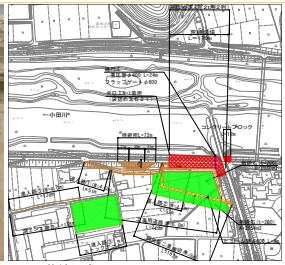
被災直後

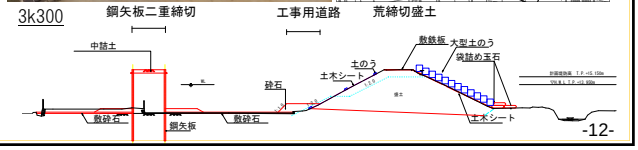


7月7日（土）　9:00頃撮影

■小田川左岸3k400における応急復旧対策工法（国管理区間）

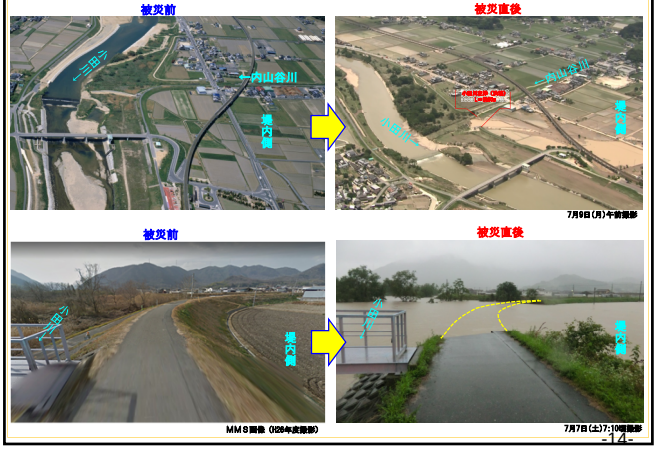
■小田川左岸3k400で発生した堤防決壊の応急復旧対策は、被害発生日の7月7日（土）22:00に緊急対策工事に着手
■早期の復旧に向け24時間体制で工事を実施し、7月15日（日）23:00には、堤防締切盛土（盛土工：V=14,000m3）を完了
■7月21日（土）10:00には、二重締切堤防（二重鋼矢板：910枚）を完了し、応急復旧対策を完了





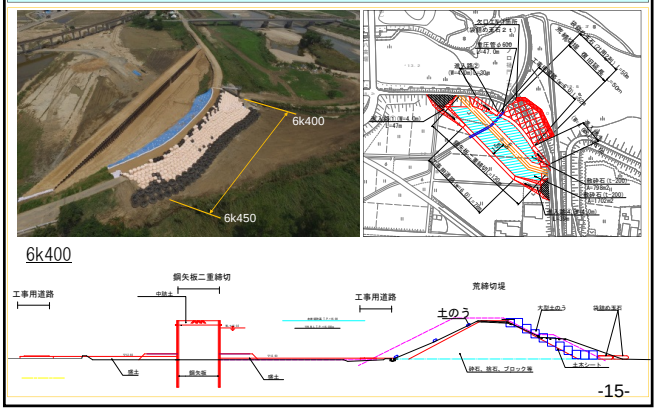
■小田川左岸3k400における応急復旧対策状況(国管理区間)

■小田川左岸6k400における被災前後の比較(国管理区間)



■小田川左岸6k400における応急復旧対策工法(国管理区間)

■小田川左岸6k400で発生した堤防決壊の応急復旧対策は、被害発生翌日の7月8日(土)14:30から緊急対策工事に着手
■次期出水に向け、早期復旧のため24時間体制で工事を実施し、7月15日(日)23:00には、堤防締切盛土(盛土工:V=5, 300m3)を完了
■7月19日(木)14:00には、二重締切堤防(二重鋼矢板:650枚)を完了し、次期出水に向けての応急復旧対策を完了



■小田川左岸6k400における応急復旧対策状況(国管理区間)

「災害復旧における入札契約方式の適用ガイドライン」の活用

緊急度が極めて高い応急復旧・本復旧については,「災害復旧における入札契約方式の適用ガイドライン」の基本的考え方に基づき随意契約を締結

1-2 入札契約方式の選定の基本的な考え方

工事内容	緊急度	入札契約方式	契約相手の選定方法
応急復旧 本復旧	極めて高い	随意契約	下記のような観点から最適な契約相手を選定 ①被災箇所における維持修繕工事の実施実績 ②災害時における協定締結状況 ③施工の確実性(本店等の所在地、企業の被害状況、近隣での施工状況、実績等)
本復旧		指名競争	有資格業者を対象に、下記のような観点から、指名及び受注の状況を勘案し、特定の者に偏しないように指名を実施 ①本社(本店)、支店、営業所の所在地 ②同種、類似工事の施工実績 ③手持ち工事の状況
本復旧	通常の方式によって迅速な対応が可能な場合	通常の方式	(一般競争・総合評価落札方式他)

1-2-1 随意契約

災害復旧工事のうち、発災直後から一定の間に対応が必要となる道路啓開、がれき撤去、堤防等河川管理施設等の応急復旧工事や、孤立集落の解消のための橋梁復旧など緊急度が極めて高い本復旧工事について、被害の最小化や至急の原状復旧の観点から、「随意契約」(会計法第29条の3第4項)を適用する。

河川等災害応急対策活動等に関する基本協定

- 災害時の応急対策活動を迅速かつ的確に実施するために,協力会社を広く募集し協定締結。
- 吉井川・旭川・高梁川を管理する岡山河川事務所における協定(平成30年6月15日～平成31年5月15日)の状況は以下のとおり。

測量・設計

【内容】被災箇所の調査,測量及び対策工法の設計。
【業者】吉井川・旭川・高梁川:11社(土木関係建設コンサルタント・測量)

写真撮影

【内容】被災箇所等の空中写真撮影,加工,解析。
【業者】吉井川・旭川・高梁川:9社(測量)

応急復旧工事

【内容】建設機械,資材,労力等により応急対策活動を実施。
【業者】

	協定締結業者数(一般土木・維持修繕)
吉井川	5
旭　川	7
高梁川	7

排水ポンプ車,照明車

【内容】排水ポンプ車,照明車の運送及び運転操作。
【業者】吉井川・旭川・高梁川:9社(一般土木・維持修繕・機械)

高梁川水系小田川の応急復旧工事

堤防決壊箇所の応急復旧

	受注者	契約方法
3k400地点応急復旧	災害協定業者（高梁川)4社	随意契約
6k400地点応急復旧	災害協定業者（高梁川)3社	随意契約

堤防破損箇所の応急復旧

	受注者	契約方法
0k600地点応急復旧	災害協定業者（高梁川)1社	随意契約
その他箇所応急復旧	維持業者（高梁川)1社	変更追加

応急復旧の支援

	受注者	契約方法
大型土嚢・土砂運搬	災害協定業者等12社（鳥取)	随意契約
大型土嚢・土砂運搬	災害協定業者等15社（広島)	随意契約
輸送路啓開・大型土嚢設置等	災害協定業者等7社(岡山等)	随意契約
ホースブリッジ設置	維持業者1社(岡山)	変更追加

-19-

高梁川水系小田川の応急復旧工事

ガイドラインの活用

- 迅速な施工者手配
- 地域に精通した・地域の思い入れのある地元業者による対応

- 大規模災害への対応に関するノウハウの蓄積
- 本復旧,今後の大規模災害対応の円滑化

【現場対応雑感】
- 地元建設業の重要性を再認識。
- 近隣における稼動現場の有無が初動に大きく影響。
- 夜間の作業体制(運転手・交通誘導員)の早期確保が重要。

-20-